

Tel : 03-5419-3836
Fax : 03-3455-5079
E-mail : itritokyo@itri.org.tw

■□■

3. -----■□■
<IDEC より>

【セミナーのご案内「注目されるメコン経済圏」】

平成 23 年 10 月 7 日に、セミナー『注目されるメコン経済圏』～21 世紀の世界経済発展の原動力～を開催します。新たな投資先として関心が高まるメコン経済圏（タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、ラオス、中国雲南省）の中でもカンボジアは、若い労働力が安価で集めやすく、外資系企業への投資支援制度が充実しているなど、日系企業の関心が高まりつつあります。今回は、メコン経済圏の投資環境や今後の展望について、解説します。

◆セミナー 1 ～メコン経済圏の魅力と展望

講師：日本貿易振興機構（JETRO）海外調査部アジア大洋州課長 若松 勇 氏

◆セミナー 2 ～メコン経済圏のなかのカンボジア

講師：三菱東京UFJ 銀行 国際業務部 金井 宏樹 氏

◆セミナー 3 ～投資先としてのカンボジアの魅力と課題

講師：カンボジア総合研究所 CEO/チーフエコノミスト 鈴木 博 氏

【日 時】平成 23 年 10 月 7 日（金）14：00～17：00

【会 場】（財）横浜企業経営支援財団 大会議室

【参加費】横浜市内企業／無料、市外企業／1,000 円

当日受付にてお支払いください

【お問合せ】（財）横浜企業経営支援財団 国際ビジネス支援部

TEL：045-225-3730 kokusai@idec.or.jp

◆詳細・お申込はこちらから ⇒ <http://global.idec.or.jp/semina2011/20111007.html>

■□■

4. -----■□■
<IDEC より>

【講座のご案内「はじめて取り組む貿易ビジネス講座」】

●●● 実務に役立つ貿易書類の見方・作成の仕方（全 6 回シリーズ） ●●●

はじめて海外ビジネスに取り組もうとする中小企業の、実務担当者向け講座です。

【講 師】 横浜ビジネスエキスパート 櫻井 正文 氏

◎10/19（水）：「貿易書類の基礎：主要売買取引条件とインコタームズ 2010」

◎11/16（水）：「Inquiry（引き合い）、Offer（オファー）と売買契約書（その 1）」

◎12/21（水）：「L/C（信用状）と信用状統一規則（UCP600）」

◎1/18（水）：「B/L（船荷証券）、AWB（航空運送状）と Insurance Policy（保険証券）」

◎2/15（水）：「Invoice（インボイス）と B/E（為替手形）」

◎3/21（水）：「売買契約書（その 2）」

※教材について：各回配付テキストの他、事前に参考書をご購入いただきます。

詳細はウェブでご確認ください。

【日 時】平成 23 年 10 月 19 日（水）～全 6 回 15：00～17：00

【会 場】横浜企業経営支援財団 大会議室 他（各回ご案内します）

横浜市中区太田町 2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7階

【参加費】横浜市内企業／無料、市外企業／各回お一人につき 1,000 円

当日受付にてお支払いください

お申込みは、下記より PDF ファイルをダウンロードいただき、FAX または E-mail でお願いいたします。

◆詳細・お申込はこちらから⇒ <http://global.idec.or.jp/semina2011/20111019tr.pdf>

【お問合せ】(財)横浜企業経営支援財団 国際ビジネス支援部

TEL : 045-225-3730 kokusai@idec.or.jp

■□■

5.

<WBC 事務局より> ~コラム「アジアのあれこれ」~

【SMAP イン チャイナ】

日本と中国の間には、歴史問題、政治体制の違いから、まだまだギクシャクした関係が残っている。しかし、先日の SMAP の北京公演を見ていると、4万人もの中国の若い熱狂的な SMAP ファンが集まって、日本が好きだとインタビューに答えている。筆者は中国に5年間の駐在経験があり、2005年の反日デモに遭遇したが、日系企業が多く進出していた工業団地では反日の動きは全くなく、話題にも上らなかった。数年前に「ほんとうは日本に憧れる中国人」と言った本を中国人の著者が出していたが、筆者の駐在経験から言うと若い人達に限れば当たっている気がする。中国のある新聞記事によると、日本に観光に来ると最初は中国の都市の方が高層ビルは多く、より近代的だと言う印象を持つが、しばらくすると日本の街の清潔さ、日本人の親切さ、誠意、生活レベルの高さなどを実感するとのことである。逆に、筆者も中国に駐在する前と、今では中国に対する印象が大きく変化している。中国の若者には優秀で、且つ日本語、英語で仕事ができる人材も多いし、日本人以上に社交的で礼儀をわきまえた人達も多くいる。日本と比べて、中国は人口が多く、貧富の差も激しいことから、理解するにも時間が掛かる。ビジネスの世界でも同じことだと思う。中国は日本の技術を、そして日本は中国市場を必要としている。つまり、お互い SMAP に匹敵する魅力は既に持ち合っている。SMAP の北京公演が1年間延期された後に成功したように、焦らずに時間を掛けて、お互いの良さをじっくり理解し合うことが大切だと思う。(執筆者：WBC アドバイザー)

■□■